

KOJOH DX経営ビジョン

2022.1策定
(2022.7改訂)

KOJOH

代表取締役 古城 一

トップメッセージ

当社は本年で会社設立70周年を迎えます。経営理念の一番に「時代の変化に対応し、IT・OA を顧客の目線で提供し続け、地元企業の発展に寄与する会社を目指す」とあります。この70年、この理念通りに時代の変化と共に会社の業容も変え続け、顧問税理士からは、こんなに会社の中身が変わった企業はない。と言われるほどです。ここ5年では、働き方改革にいち早く挑戦し、県のモデル企業となりました。難しい挑戦でしたが結果的にたくさんのお客様が当社に視察にいられます。厚労省制作の中小企業の働き方改革成功読本に、成功事例として全国50社の中に当社が選ばれ掲載されました。また、女性登用を積極的に推し進め、令和2年に県知事から女性活躍推進表彰を頂戴しました。未だ認知度の低かったSDGS関連では、いち早く3年前に推進セミナーを顧客向けに開催し、今も県内でSDGS啓蒙活動を続けております。

このように、企業変革や社会課題解決への「挑戦」が最近の当社DNAになってきました。祖業である測量機械販売や複写機販売も時代と共に変遷するなか、デジタル化することだけが目的ではなく、企業ビジネスモデルそのものの変革をデジタルを一つの手段として成し遂げようとする、『DX』に対し、当社幹部は大いなる可能性を見出しました。DXの考え方で当社業務フローを変えていくことは勿論、地域貢献のために、県内の中小企業へDXをご案内し、推進するのは当社しかいない！といった使命感を持ちました。そこで、昨年に社内組織を変更し、DXグループを立ち上げ、その中にDX推進チームを設置しました。構成メンバー自らが新たな学習をしながら、「お客様に最適なDXを！」を合言葉に活動を始めております。そんな活動を目にした大分県庁様から、DX認定取得をお勧め頂き、今回あらためて経営ビジョンをデジタルビジョンと照らし合わせながら策定し、取得申請をさせて頂くことに致しました。

当社を取り巻く現状

当社事業の大きな柱の一つである複合機販売のビジネスにおいて、以前よりペーパーレスの波が来ていたところに、今回の新型コロナの影響によるテレワークやクラウドサービスの広がり、電帳法など外的要因により、既存の複合機の役割が大きく変わってきました。また、生産性向上や人手不足の課題など、働き方改革を求められる時代の流れが、大分県下全業種の企業に大きく影響を及ぼしています。

お客様の課題解決を提案していく当社の業務において、これまでのやり方や考え方をシフトしながら、お客様の仕事のワークフロー自体をデジタル化を中心として見直ししていく必要が出てきました。

その為にもまず当社自身が変革を行い、大分県の中小企業様への変革に伴走できる様に取り組んでまいります。

KOJOH DX経営ビジョン

**社員みんながイキイキ・ワクワクと活躍し、
お客様の成功に役立つ企業となる**

今迄チャレンジしてきました、働き方改革・女性活躍推進・SDGS活動、これらのアクションを継続しながら、一番は社員さんのウェルビーイング(心身ともに健康)継続と持続可能な当社を見据え、DXの考え方を経営の中心に据えて、「デジタル変革」をキーワードに進んで行きます。

当社の戦略

**人財それぞれのプロ
フェッショナル化**

定期的な人財育成と教育

**変化をおそれない企
業文化醸成**

社内業務フローの棚卸

**社員が心身ともに健
康に (Well-being)**

ITツールの活用による更なるデジタル化

**スピード感を意識し
た課題解決**

大分をDXでいっぱい！

当社変革への取り組みに向けて

社内業務フローの棚卸

DXを営業戦略の真ん中に据えます。組織を変更し、DX推進チームを設置すると共に、DX認定取得を社内に宣言(2022年1月)し、当社がハードウェア販売からデジタルサービス会社へ変革すべく、ビジネスモデルを再構築する為に、まず業務フローの棚卸から始めます

ITツールの活用による更なるデジタル化

まずは当社が実践して業務フローを変革し、会社の生産性をさらに上げなければ、お客様に展開など出来ようはずもありません。率先して、デジタルを用い、社内改革に取り組みます

定期的な人財育成と教育

モノからコトへの販売転換を考えますと、現状は新卒セールス採用と育成にコストをかけてきましたが、今後はそのセールス採用のみならず、ソフトウェア開発エンジニアを新卒採用すると共に、外部連携も視野に入れます。また、現社員の学び直しも含め、エンジニアやITストラテジストとしての再教育にも力点を置きます

大分をDXでいっぱい！

5年後には大分県内中小企業さんのうち、100社さんが当社のDXソリューションに賛同して、変革を遂げておられることを目指します

具体的な取り組み

- kintone(クラウドサービス)を導入し、部門をまたぐデータ連携を開始。
- kintoneでの当社の変革実践をもとに、お客様の経営課題解決に向けた情報発信(ハンズオンセミナー等)を継続的に企画。
- クラウドストレージを導入して、サーバやPCのローカルに散らばっていたデータを一元管理。データ管理に伴いフォルダ構成も見直。
- クラウドサービスの活用により、場所に囚われないデータの利活用を全社員が出来るようになる。いつでもリモートワーク(当社はスマートワークと呼ぶ)が可能。
- IT人材の育成の為、社内で勉強会を開催し、kintone等のツール活用を広げると共に、IT系資格の取得をバックアップ。
ICTにまつわるセキュリティについて定期的に全社勉強会を開催。
- バックオフィス業務の効率化の為にAI-OCRの導入での入力作業の効率化やRPAの活用による単純業務の効率化、kintone導入によるペーパーレス化及び情報のタイムリーな共有を試験運用中。
- 業務プロセス内におけるペーパーレスを目指すべく、請求書の電子送付を検討中。